

平成 24 年 6 月 18 日

ご投資家の皆様へ

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

米国製造業株式ファンド(愛称:USルネサンス)

設定後の運用状況等につきまして

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご投資家の皆様におかれましては、平素より「米国製造業株式ファンド(愛称:USルネサンス)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは平成 24 年 5 月 31 日に設定されましたが、設定日以降、マーケット動向に注意を払いながら慎重に株式の組み入れを行い、この度ポートフォリオの構築を完了いたしました。

当ファンドの基準価額は 10,285 円(6 月 18 日時点、1 万口あたり)と、設定後も順調に推移しておりますが、改めて米国株式市場の動向、当ファンドの運用状況、今後の見通し等につきまして、ご報告させていただきたいと存じます。

敬具

【米国株式市場および当ファンドの運用状況について】

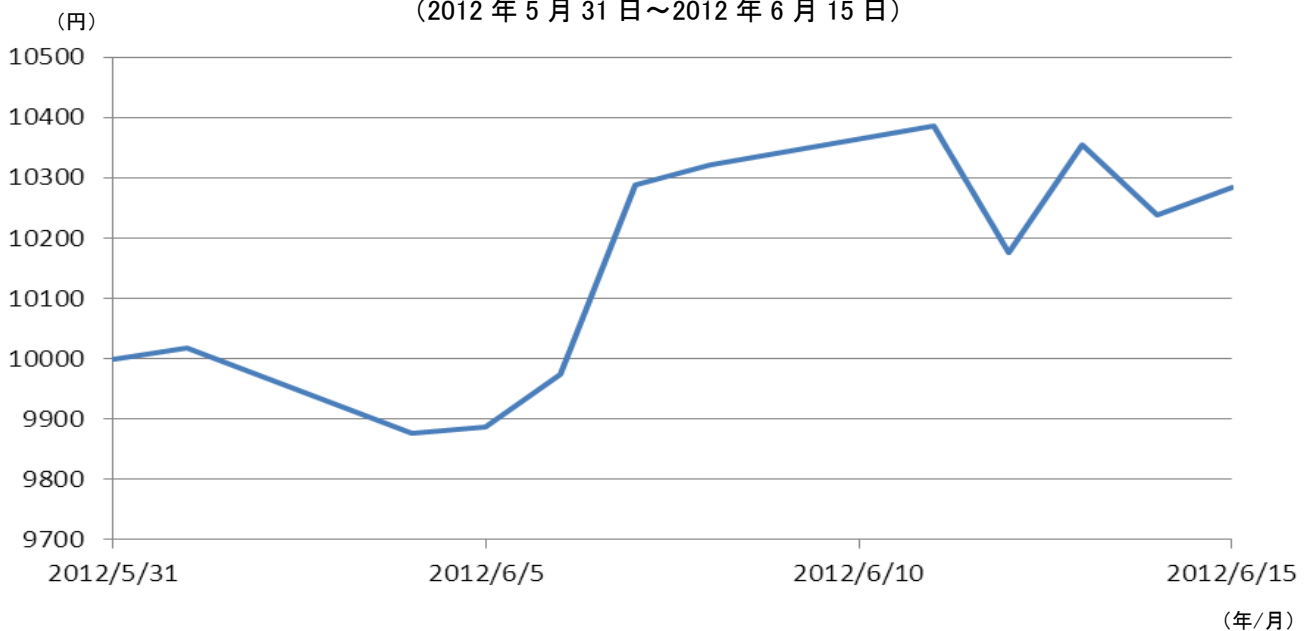
5 月 1 日に今年の最高値である 13,279 ドルを付けた NY ダウ平均株価は、その後欧州債務危機への懸念が再燃したことや米国内の一部経済指標が弱含んだことなどをを受けて軟調な展開となり、当ファンドを設定した 5 月 31 日(現地時間)には 12,393 ドル、その後も米国内の景気鈍化の懸念などから一時 12,100 ドル台まで低下いたしました。しだいに反発基調となり、6 月 15 日終値ベースでは月初来 3.0%上昇の 12,767 ドルまで回復しております。

この期間、米国株式市場に関して投資家の間で懸念されていた不安材料は主に以下の 2 つのポイントに絞られます。

- 欧州(特に南欧)におけるソブリン債危機および政情の混乱は同地域経済をリセッション入りさせる可能性があるが、それが米国に与える影響はどのようなものとなるか？
- 中国政府は不動産価格の高騰やインフレを抑制してきたが、今後、中国経済全体をソフトランディングの方向へ導くことができるのか？

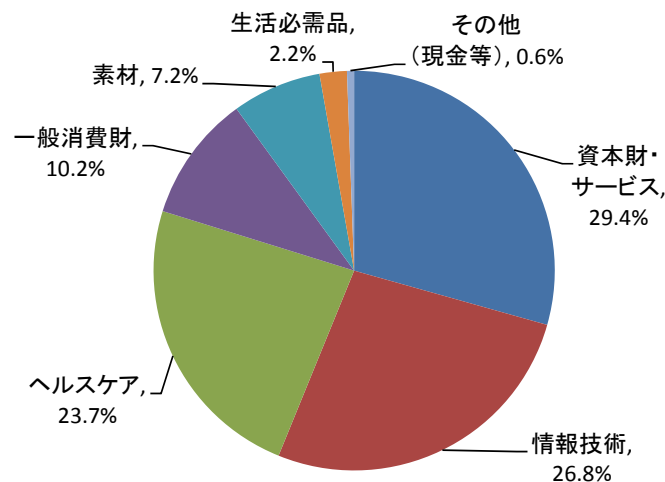
上記の不安材料に関して、まだ明確な回答を見出すことは難しく、これが足元の米国株式市場を不透明なものとしています。当ファンドの運用に当たりましては、このような不安定なマーケット環境であることを十分に考慮しながら、割安で魅力度の高い銘柄等を吟味し、慎重にポートフォリオの構築を行って参りました。設定後、約2週間が経過した6月15日時点の基準価額は10,285円(1万口あたり)、設定来で+2.85%と緩やかな上昇となっております。

当ファンド基準価額の推移(1万口あたり)
(2012年5月31日～2012年6月15日)



* 基準価額は信託報酬控除後のものです。
* 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。

ファンドの業種別配分(2012年6月15日現在)



* 業種は S&P と MSCI が共同で作成した世界産業分類(GICS)に基づき分類しています。
* 組入比率は、マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY Mellon Asset Management Japan 株式会社 が作成したものです。●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの保有上位5銘柄(2012年6月15日現在)

銘柄	業種	比率
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.41%
UNION PACIFIC CORP	運輸	4.08%
GENERAL ELECTRIC CO	資本財	4.06%
UNITED TECHNOLOGIES	資本財	3.93%
ELI LILLY & CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.92%

*組入比率は、マザーファンド純資産総額を100%として計算した値です。

【今後の見通しについて】

足元では、ギリシャで17日に実施された緊縮財政政策の是非を問う議会選の再選挙において、緊縮派が過半数を確保できる見通しとなったため、ひとまずギリシャのユーロ離脱懸念は後退いたしました。当ファンドの運用を担当しているボストン・カンパニー社では、米国企業は短期的には今回のような欧州債務問題の影響を一部受けることが想定されるものの、米国内においては住宅市場や自動車販売に改善の兆しが見える上、インフレ率は低下基調でFRB(米連邦制度準備理事会)も金融緩和政策を継続するなど、米国企業を取り巻く環境が次第に良好なものとなってきていることに注目しています。2012年の米国経済成長率は巡航速度といえる2.5%程度を予想しており、企業収益面においても、2011年に前年比15%の増益(S&P500指数採用銘柄ベース)を達成したことに続き、2012年に関しても7.4%程度の増益が見込まれることから、米国株式は他の先進国市場と比較しても引き続き魅力的な投資対象であると考えています。また、米国製造業については、中長期的にも以下の観点から引き続き期待が持てると考えています。

- ① 中国での労働コストが急速に上昇する一方、米国の労働コストは横バイとなっており、その格差は急激に縮小し、長く伸びすぎたサプライ・チェーンや輸送コストといった様々なリスク等を総合的に勘案すると米国内で生産することのメリットの方が大きくなってきている。
- ② シェールガス抽出技術の向上により、より安価なエネルギーが米国内で入手可能となり、電力や輸送にかかるエネルギー・コストの削減が見込まれる。
- ③ 貿易加重平均ベースでは米ドルの価値が低下基調となっており、米国の輸出関連企業にとって競争力が高まっている。

ボストン・カンパニー社では、米国製造業の中からこれらの変化によって恩恵を受ける銘柄をいち早く見つけ出し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用努力を重ねて参る所存です。今後とも末永く当ファンドをご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

<ファンドのリスク>

- 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により、当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預貯金とは異なります。また、当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「株式の発行企業の信用リスク」「為替変動リスク」や「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

<お客様にご負担いただく費用>

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○購入時手数料:

3.15%(税抜 3.0%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○信託財産留保額:換金申込受付日に翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

毎日、信託財産の純資産総額に**年 1.7850%(税抜 1.70%)**の率を乗じて得た額とします。

※委託会社の受取る報酬には、マザーファンドの投資顧問会社への投資顧問報酬が含まれ、信託財産に属する当該マザーファンドの受益証券の時価総額に、年0.53%の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

監査費用、目論見書等の作成、印刷および交付費用ならびに公告費用等の管理、運営にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管費用等が、信託財産より支払われます。

(注)この他に、投資対象とする投資信託証券においても、上記費用に類する費用がかかります。

◆その他費用・手数料については、資産規模および運用状況等により変動しますので、料率、上限等を表示することができません。

● 投資信託委託会社

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第406号

[加入協会]社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会